

## 授業改善等に関する報告書（2022年後期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

【2022（後期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
キャリア・マネジメント論	谷内 篤博	本来、本授業は少人数でじっくり双方型実施することが望ましいが、今年も比較的多くの受講者（60名）が参画してくれ、講義式の授業形態ととらざるを得なかった。次年度は、もう少しケーススタディや学生同士のディスカッションを取り入れた授業にしていきたいと考えている。
コーチング論	谷内 篤博	本授業は、ケーススタディに対するロールプレイングやディスカッションを中心としており、多くの学生の積極的な参加意欲にさせられ、効果的な授業につながったと思われる。学生の授業評価も高くなっており、一定の学習成果を上げることができたと思っている。
コミュニケーション概論	高木 裕子 粟津 俊二 時田 朋子	本授業の後半から代講教員が担当しましたが、内容を理解されている方とまだそれではなかった方が見受けられましたので、次回はできるだけ皆様方に内容を理解して頂き、意識化を図れるような方法を工夫したいと思っています。
ジェンダー論	山根 純佳	7.説明はわかりやすかったか、の説明に対し、「どちらともいえない」との回答が4%あったので、わかりやすい説明ができるよう工夫していきたい。
ソーシャル・デザイン・プロジェクトA	標葉 靖子	本授業は、「漠然とした大きな社会課題を自分たちでブレイクダウンしていきながら、自分ごととしての課題を定義し、その解決をデザインする」という創造的な協働プロセスに必要な考え方やスキルを体験しながら学べるように設計しています。とても難しい課題で大変だったと思いますが、課題に取り組む中での経験は必ず次に活かせるものだと思います。広く社会の課題に関心をもち、自分ごととして向き合う姿勢を今後も継続していただければと思います。
データベース基礎	竹内 光悦	おおむね好意的な回答でしたので安心です。データベースは今後も大切になる知識・技能だと思いますので、ぜひ引き続き学修していきましょう。
フィールドワーク論	原田 謙	今年は博報堂&JR東日本のPBLを実施しました。授業内容と方法に関する評価は、おおむね良かったようです（総合的な満足度は4.60点）。2年生はゼミ活動、3年生は卒論で、この授業で学習した「質的分析」を活用してみてください。
メディア・ワークショップ	標葉 靖子	漠然とした社会課題を出発点に、単なるアイデアの提案で止まらず、実際にデモができるレベルのアナログゲーム試作品を開発してテストプレイまで行うことが本授業の最大の特徴です。複雑な社会課題をモデル化し、実際にゲームとして機能するシステムに落とし込んでいくプロセスは想像以上に困難の連続であったと思いますが、同時に達成感も入ったのではないのでしょうか。そのプロセスの体験を通して培った、複雑な問題を読み解く力や物事を多面的にとらえる力を、今後さまざまな場面で発揮しさらに磨いていくことを期待します。
メディア心理学	駒谷 真美	まず冬場の月曜日5限という過酷な状況にありながら、53人も履修してくれて感謝している。そして、9項目において、全体平均と当該区分平均を大きく上回る評価がされており、大変嬉しく思っている。何より積極的に学ぼうとする姿勢は、講義中のresponのアンケート、講義後のリフレクションシート、課題レポートから十分伝わってきた。アンケート結果から「学生の96%が、自身の成長を実感し、メディア領域への学習意欲を感じ、講義に満足し、100%全員が意欲的に取り組んだ」と回答があり、大変喜ばしい。
メディア表現	駒谷 真美	この講義では、毎回履修生がメディアテキストを制作している。本年度は、大学公認ラジオ番組「渋谷のJJラジオ」のTikTok動画制作に挑戦した。履修生は、動画クリエイターの特別講座を受けてから、毎月の放送日前後に合わせて、積極的に動画制作に取り組んでいた。授業アンケートは、回答率が40%（15人中6人回答）のため統計的な分析は行わない。
リーダーシップ開発A	標葉 靖子	本授業で扱ったように、皆さんの日常の中にもいくらでもリーダーシップを発揮できる機会があります。これからも意識して、集団の目標達成には何ができるのかを自ら考え、実際に行動に移していくことを習慣づけていってください。皆さんの益々の活躍を期待しています。
異文化理解	阿佐美 敦子 時田 朋子	グローバル化が進む現在、異文化を理解する力は重要となっています。今回の授業で学んだ視点をぜひ生かして、異文化に関わっていただきたいと思います。
英語コミュニケーションⅠ	グティエレス、ティモシー 時田 朋子	コミュニケーションとしての英語を楽しんでいただけたら嬉しいです。英語のスキルアップを目指して2年時の授業も頑張りましょう。
英語コミュニケーションⅠ	マルチェフ、ミレン・アンゲロフ 時田 朋子	コミュニケーションとしての英語を楽しんでいただけたら嬉しいです。英語のスキルアップを目指して2年時の授業も頑張りましょう。
英語コミュニケーションⅠ	ミラー、ブルース 富倉 教子	皆さんご協力ありがとうございました。また様々な観点からご意見を寄せていただきありがとうございます。いただいたご意見は今後の参考にさせていただきます。1年間お疲れ様でした。今後の皆様のご活躍を願っております。

[2022 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
英語コミュニケーションⅡB	シオティーノ, アン 時田 朋子	コミュニケーションとしての英語を楽しんでいただけたら嬉しいです。必修の英語の授業はこれで終わりになりますが、実社会において英語はますます重要になってきます。ぜひ英語のスキルアップを目指して学び続けてください。
英語コミュニケーションⅡB	ミラー, ブルース 時田 朋子	コミュニケーションとしての英語を楽しんでいただけたら嬉しいです。必修の英語の授業はこれで終わりになりますが、実社会において英語はますます重要になってきます。ぜひ英語のスキルアップを目指して学び続けてください。
英語コミュニケーションⅡB	ライト, アレックス 富倉 教子	皆さんご協力ありがとうございました。また様々な観点からご意見を寄せていただきありがとうございます。皆さんからいただいたご意見は今後の参考にさせていただきますと思います。1年間お疲れ様でした。今後の皆様のご活躍を願っております。
演習Ⅰ	井上 綾野	ディベートやプレゼンテーション等、積極的な取り組みが素晴らしかったです。ここで学んだことを次に活かしてください。
演習Ⅰ	吉田 雅彦	多くの学生が授業に満足してくれました。 以下の感想をいただきました。レポートのルールは慣れるまでたいへんですが、良く練習してくれました。今後の大学での学び、社会人になったときの基礎として活かしてください。  文章を声に出して読むことで内容理解と自主的に取り組む力が身についた。 レポート作成についてが身についた 人前で発表をする能力が身についた。 レポートの書き方について理解できた。 レポートの正しい書き方などが身についた。 論文の書き方や、論文の基礎を学べた。 レポートやパワーポイントの作成の仕方を理解できた。 論文の書き方や見やすいパワポ作成の作り方についての知識が身についた。 レポートの発表の仕方、問題定義、解決の仕方を学び、身につけることが出来た。 レポートの書き方、発表を仕方を学ぶことができた。 レポートの書き方を丁寧に教えていただいた。 自分で最初から思考し、レポートを組み立て、それを元にパワーポイントを作成することで、将来会社勤めになった場合のプレゼンなどで応用できるなと思った。 レポート作成から発表までの流れを知ることができた。 レポートの書き方の細かな部分まで学ぶことができて良かった。
演習Ⅰ	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございました。 参考させていただきます。
演習Ⅰ	駒谷 真美	授業アンケート回答率が26.1% (23人中6人が回答)であったため、統計的言及は行えない。しかし、回答してくれた1年生は、シラパスと授業一致・双方向の工夫・わかりやすい資料・教員の教え方・高い自己成長度・自己評価度・意欲的取り組みについて、高く評価してくれたことは、大変有難い。
演習Ⅰ	山根 純佳	8. 双方向授業(質問のしやすさ等を含む)等の工夫がされていりましたか?(manabaの掲示板、個別コレクション等の利用を含む)の回答にばらつきがあったので、質問のしやすさ等、工夫を重ねていきたい
演習Ⅰ	篠崎 香織	カカオ農園のケースを通して問題発見、改善提案を、また、Can詰めPJを通して、説得力のある提案とプレゼンテーションを行うことができたと思います。 少し難しい課題でも、さらに調べたり、仲間と情報共有をすることで先に進めることがあります。 これからも自己研鑽を続けてください。
演習Ⅰ	松浦 常夫	学生の皆さんは真剣に授業に取り組み、良かったです。
演習Ⅰ	神山 静香	すべての項目で肯定的な評価をいただきありがとうございました。自由記述では、「ディベートで使える資料を探す力や物事を論理的に考える力が身についた」、「立論から引用の仕方までしっかりと学ぶことができ、卒論に向けた準備を授業を通して行うことができた」、「グループでの問題解決力や協力する力、協調性が身についた」「肯定側・否定側でも意見を述べることや根拠に基づく意見を述べることの難しさを学んだ」、「自分の考えだけでなく、データに基づいて論理的な議論を行うことの重要性を理解できた」、「各チームのテーマへの理解と関心が深まった」、「その場で相手の意見に対して反論できる力がついた」等、ディベートを通して様々な力が身についたとの意見を多くいただきました。 授業全般に関して、「先生の演習は興味深い話が多く、とても楽しかった」、「先生が面白くてとても楽しかった」との意見もいただきました。教員側から提示したことに対し、学生の皆さんからははっきりとした反応がある点、和やかな雰囲気の中でグループワークを進めることができた点等は非常に良かったと思います。ディベートの手法に関して、「議論のしかたや尋問と反駁の差異を明確に提示していただけるとさらに良かった」との意見もいただきましたので、いただいた意見を次年度の授業に生かすよう心掛けていきたいと思っております。

【2022（後期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習Ⅰ	数野 昌三	2022年度「演習Ⅰ」では、班分けし、メンバーで話し合い、テーマを設定、問題点を発見し、諸問題解決への基準を調査、比較検討することにより解決策へと導く。そのプレゼンの中でレジュメ&パワポを使用し、ゼミ員全員に理解してもらおうという作業を実施しました。発表回数も各人3回。つらかった時期もあったかと思いますが、本演習において努力した学生は、その努力が必ず上級学年において役立つことを願っています。
演習Ⅰ	竹内 光悦	お疲れさまでした。短期間で二つの企画研究でバタバタしているところはありませんでしたが、おおむね好意的な回答で良かったと思います。ぜひ2年生になっても頑張ってください。
演習ⅡB	井上 綾野	外部コンテストやプレゼンテーションへの取り組みが素晴らしかったです。
演習ⅡB	原田 謙	総合評価も4.67点と比較的高評価でした。とくに、レジュメの作成や発表などで「自分の成長」を実感してくれたようです。またディベートも良い経験になったようです。ぜひ学んだ方法を、他の授業でも活かしてください。
演習ⅡB	広井 多鶴子	前半はレポートの作成、後半はグループワークとプレゼンを中心に進めました。レポートの作成については、「他授業でのレポートでも生かすことができた」「今までレポート書き方などあやふやだったが、少しコツを掴めるようになった」といった感想がありました。レポート作成の方法が身に付いたということで、とても良かったと思います。  また、グループワークについては、「座席の関係でグループワークはやりづらかった」という意見がありました。前「前で長時間プレゼンをする経験があまり無かった為、自分の発表の仕方等を考える良いきっかけとなった」といった意見がありました。プレゼンは経験を積むことが重要です。この演習がそうした機会になって良かったと思います。  一方、「説明はわかりやすかったですか」という質問については、やや低めの点数になっていました。分かりやすい説明になるよう、工夫していきたいと思っています。
演習ⅡB	山根 純佳	4. あなたはこの授業をどれくらいの割合で理解できましたか？ の回答にばらつきがあったので、わかりやすい説明を心がけたい。
演習ⅡB	蔭 飛鴻	全体科目平均の4.40に対してこの科目の平均が4.57となっています。今後も学生にとってわかりやすい授業を行うよう努めていきたいと思っています。
演習ⅡB	神山 静香	すべての項目で概ね肯定的な評価をいただきありがとうございます。予習復習の時間で1時間未満、30分未満という回答がありましたので、予習復習のための教材や配布方法、課題の設定等について改善、検討を行いたいと思います。 自由記述では、「課題について自分たちで調べる力が身についた」、「グループで協力して達成できた」、「投資について、注目すべき数値等の知識がついた」、「先生の人柄の良さを感じた授業だった。楽しかった」等の意見をいただきました。ありがとうございます。いただいた意見を次年度に活かすよう心掛けたいと思います。
演習ⅡB	数野 昌三	2022年度「演習ⅡB」では、班分けし、メンバーで話し合い、テーマを設定、問題点を把握、諸問題解決への基準を調査・検討することにより解決策へと導く。そのプレゼンの中で、レジュメ&パワポを使用し、発表者は当然のこととして、ゼミ員全員に理解しやすいプレゼンを目指しました。今後は、各専門ゼミにおいて羽ばたいて下さい。期待しています。
演習ⅡB	谷内 篤博	全体的に学生の皆さんの本ゼミに対する満足度は高く、一安心した。ゼミ生はこれまでの演習とはかなり内容が濃く、ハードであったと思われるが、修了後のアンケートでも成長して姿が読み取れたので、当初の想定した教育効果は得られてものと思われる。

【2022（後期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅡB	竹内 美香	<p>人間社会学部では、4年間、1期も「演習担当教員」の居ない時期は設定されていません。全員がいつも必ず、担当教員と共に学んでいます。</p> <p>「演習Ⅱ」は、3年から開始される専門ゼミのための準備学習として位置付けることができます。</p> <p>後期の「演習Ⅱb」では、以下を目指しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 与えられた作業課題（テーマ）に関する情報を、多様な検索キーワードを考えて、情報収集する。単純で平板な情報収集を超えて、課題の過去・現在・未来を描けるほどの知識体系を構築する。さらにそれを報告として第三者に教える場面を想定して整理する。（調べて個人レポートを書く）</li> <li>2) グループメンバーで協力して、個々に収集した知識情報を体系化して、第三者に教えるレベルでプレゼンテーションするための資料「番組」を制作する。（グループのプレゼンテーション制作のための協働）</li> <li>3) 第三者に伝えるプレゼンテーションを実行し、成果を自己評価する。</li> <li>4) 「正解のない課題」の曖昧さと、含まれる意味、紛争の推移を推定し、可能性として考えられるあらゆる解答について、自由に意見表明し、他者の「声」を聴く。推定の過程では、ロールプレイを取り入れるなどして紛争過程で生じる感情的な動きを感じる。</li> </ol> <p>14回の演習と、正課外時間でのグループメンバーとの協働など、学生さんが主体的に取り組む時間になったことと思います。</p> <p>過程では、電子ファイルの交換や共有など、実務面でも重要なスキルを習得したと思います。</p> <p>「演習Ⅱ」で仲間と研鑽を積み習得したスキルが、次の専門ゼミで、ご自分の専門性を獲得する学習につながることを期待します。</p> <p>また、他者の取り組みからポジティブに学ぶ趣旨でワークシートも「ポジティブ評価シート」としていました。趣旨を組んで、とてもよい視点の記述が蓄積されました。皆さんにもまとめて配信しました。時々、再読してみてください。学ぶことが多いと思います。</p>
演習ⅡB	標葉 靖子	<p>入門書ではありましたが、事前に作成した読書ノートをもとにグループでディスカッションしていく講義は、学術書を丁寧に読み解き、自らの意見を論理的に記述する良い練習になるものです。普段馴染みのない分野（本演習の場合は「生命倫理」）だったかもしれませんが、皆さんの視野を広げると共に、広く「読む」力の涵養になっていることを期待します。</p>
演習ⅢB	阿佐美 敦子	<p>本ゼミの履修者は11名なのですが、回答してくれたのは3名に留まり、大変残念に思います。協力を呼び掛けたつもりでしたが、明らかに足りなかったようです。次学期は授業内に回答する時間を設け、全員に協力してもらうように努めます。全員の感想・意見を知ることが重要と思います。</p> <p>一方で、3名からはおおむね良い回答を得られたことは嬉しく思います。1名の方がご自分の評価を「0」と付けていらっしゃいますが、私から見れば、皆さん全員がグループの一員としての役割を果たしていたと思います。</p> <p>教員の個人的事情で一部リモートで行わざるを得ない会もありましたが、マイナスな影響はなかったと思われますので、その点は安堵しました。</p> <p>ゼミの皆さんは来年度は卒業研究を本格的に進めなくてはなりませんので、今期立てた計画がスムーズに進められるようサポートしていきたいと思いません。</p>
演習ⅢB	粟津 俊二	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全項目（学生自身の自己採点除く）の平均値が4.0程度以上であるため、授業方法等に特に問題は無いと考えます。</li> <li>・なかなかヘビーな課題をしてもらいましたので、平均学習時間もそれなりに長くなっています。皆さん、なかなか頑張ったと思います。</li> </ul>
演習ⅢB	井上 綾野	<p>企業との連携等、外部との積極的な交流でたくさんの学びを得ることができましたね。ここで得た知見を次に活かしてください。</p>
演習ⅢB	角本 伸晃	<p>「Q15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」で4.67の評価となり、平均を上まわる評価でした。教員としてはうれしい限りですが、次年度も引き続き、履修者の多様な能力を引き出せるようなゼミに塩帯と思いません。</p>
演習ⅢB	吉田 雅彦	<p>経済情勢や論文の書き方について楽しく学べたと思います。</p> <p>進路や就活の相談も一人ひとり行いました。</p>
演習ⅢB	金津 謙	<p>貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>参考させていただきます。</p>
演習ⅢB	駒谷 真美	<p>授業アンケート回答率が27.3%（11人中3人が回答）であったため、統計的言及は行えない。しかし、回答してくれた3年生は、高い自己成長度・専門学修意欲度・自己評価度・意欲的な取り組みを示してくれたことは、大変有難い。</p>
演習ⅢB	原田 謙	<p>総合評価は4.6を超えていました。</p> <p>個別テーマ報告もPBLも、皆さん良く頑張りました。</p> <p>卒論の準備もよろしく願います。</p>
演習ⅢB	広井 多鶴子	<p>予習復習時間も長く、満足度も高く、良かったと思います。みなさんがよく取り組んだためだと思います。この調子で卒論の完成に向かって進みましょう！</p>

【2022（後期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅢB	高木 裕子	一つの設問に対して、数か所で回答がされておりましたので、次回は確認をお願いします。
演習ⅢB	山根 純佳	2. あなたのこの授業における週あたりの予習復習時間(レポート課題等含む)は1 どれくらいでしたか? の回答にばらつきがあったので、課題の出し方を工夫していきたい。
演習ⅢB	時田 朋子	ゼミでは、自分の意見を述べながら他のゼミ生の意見を聞き、プロジェクトを進めることができました。自分たちで調査を実施し、それを発表することもできましたね。4年生になってもこの調子でがんばりましょう。
演習ⅢB	篠崎 香織	実際に自分でやってみると、簡単そうに見えたことが実はそうでもないことがわかります。つまり、実際に行ってみる、調べてみる、言ってみる、聞いてみる、やってみましょう！
演習ⅢB	松浦 常夫	ゼミ生の皆さんは、毎回真剣に授業に取り組んで、それなりの成果はでたとと思います。
演習ⅢB	蔣 飛鴻	全般的に平均を超えているので、今後も学生にとってわかりやすい授業を行うよう努めていきたいと思えます。
演習ⅢB	神山 静香	すべての項目で肯定的な評価をいただきありがとうございました。自由記述では、「毎回、誰かしらの発表があるので、説明を聞くことによってテーマや問題についての理解が深まった」、「ビジネス法に対する理解が深まった」、「自分の考えをすぐに考えまとめる力がついた」、「判例から分析する力が身についた。様々な理論への理解が深まった」、「授業で取り上げられることによって、自分からは調べていなかった事件等の内容を知ることができ、色々学ぶことができたので良かった」、「ニュースで何気なく見る不祥事等を深い視点から見ることができ、しっかりと深く学ぶことができてよかった」等の肯定的な意見をいただきました。いただいた意見について、次年度に活かしていきたいと思えます。
演習ⅢB	数野 昌三	2022年度「演習ⅢB」アンケート回答者1名のみ。皆さんの声が聞き良かったです。 アツという間に1年が過ぎ、最終学年はより一層短く感じると思います。就活もスタート、検定試験の勉強に加え、卒業論文作成もあり、早期から計画を立て、健康に十分注意し、前期は合格に向け積極的に、つまり、わからないではなく、わかるように準備学習を行い、進めていきましょう！
演習ⅢB	相川 愛美	アンケート評価ありがとうございました。これらの内容を自身でFBし、今後役に立てていきたいと思えます。
演習ⅢB	谷内 篤博	演習科目であるため、全体的には一応の評価は得ているが、なかには一部満足しきれない学生も存在しており、ゼミとは言え全体の満足度を達成するのは難しい。さらなる工夫が必要と思われる。
演習ⅢB	竹内 光悦	特に気になる回答もなかったのは良かったのですが、もう少し回答数を増やすことを目標とします。
演習ⅢB	竹内 美香	後期は、学術論文を読んで「第三者に教える」意識で抄読レジュメを作成し発表する、という課程から開始しました。4年生の卒業研究の準備を開始したのです。 先行研究、学術論文を詳細に読むのは、初学者にとってはとても大切で、しかも非常に効果的で効率のよい学習方法です。学術論文の文体、仮説の根拠、仮説の論理構成、調査に含まれる変数の絞り込み、調査項目、解析処理に適用する統計手法、結果の整理(結果表の表示形式、グラフなど図解の描き方)、仮説検証、議論・考察の展開、参考・引用文献書誌リストの書式などなど…。卒論を書いている過程では、時間が不足して「手とり足取り」教えることが実際は難しいような(しかし極めて重要な)「作法」を学んで頂くことが出来ます。 わからなかったら、わかりやすい学術論文を手に入れて、「座右の銘」にするとよいのです。 上記に書きましたこと、実は、演習Ⅳでさらに生きて来るはず。今は研究テーマと実施の準備に移行している皆さんです。 抄読した文献を大切に、そして研究計画書をしっかり書き込んで、備えましょう。
演習ⅢB	標葉 靖子	卒論の個別指導含め、普段のゼミのなかで適宜フィードバックしています。

【2022（後期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅣB	阿佐美 敦子	本ゼミの履修者は11名なのですが、回答してくれたのは4名に留まり、大変残念に思います。協力を呼び掛けたつもりでしたが、明らかに足りなかったようです。次学期は授業内に回答する時間を設け、全員に協力してもらうように努めます。全員の感想・意見をすることが重要だと思います。一方で、4名からはおおむね良い回答を得られたことは嬉しく思います。教員の個人的事情で一部リモートで行わざるを得ない会もありましたが、マイナスな影響はなかったと思われますので、その点は安堵しました。特に「自身の成長を実感できた」という方が100%であったことは嬉しいです。ゼミの皆さんは卒業研究を頑張ってください、皆、良いものを書けたと思います。毎回、皆で互いの研究成果について議論し、成長し合えたと思います。こうした姿勢が社会人としても非常に役立つはず。皆、素晴らしい学生さんたちでした。ありがとうございました！
演習ⅣB	栗津 俊二	・全項目（学生自身の自己採点除く）の平均値が4.0程度以上であるため、授業方法等に特に問題は無いと考えます。 ・なかなかヘビーな課題をしてもらいましたので、平均学習時間もそれなりに長くなっています。皆さん、なかなか頑張ったと思います。 セクションⅡの評定値は全て4.5以上ですので、基本的には授業方法に問題は無いと考えます。 ・卒論に取り組んでいただきましたが、楽しめたでしょうか？調べていて楽しい、もう少し知りたいと思えることがあったなら、卒論としては大成功だと思います。
演習ⅣB	井上 綾野	卒論への取り組み、個々の努力が報われる形になり素晴らしかったです。
演習ⅣB	角本 伸晃	「Q15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」で4.67の評価となり、卒論指導にかなり満足してくれたようです。次年度も学生の卒論テーマに合わせた的確な指導を行いたいと思います。
演習ⅣB	吉田 雅彦	経済情勢や論文の書き方について楽しく学べたと思います。進路や就活の相談も一人ひとり行いました。
演習ⅣB	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございました。参考させていただきます。
演習ⅣB	駒谷 真美	授業アンケート回答率が8.3%（12人中1人が回答）であったため、統計的言及は行えない。しかし、回答してくれた4年生は、高い自己成長度・専門学修意欲度・自己評価度・授業満足度を示してくれたことは、大変有難い。
演習ⅣB	原田 謙	総合的な満足度も4.6を超えています。皆さん、とても良い卒論を仕上げました！
演習ⅣB	広井 多鶴子	回答者全員が、自分の成長を実感し、意欲的に取り組み、満足しているということで、とても良かったです。卒論に真摯に取り組んだことがよくわかります。お疲れさまでした！！
演習ⅣB	高木 裕子	卒論作成という大変な作業をご自身が終えられたという感想が感じられました。授業評価ではなかったということだと思いました。
演習ⅣB	山根 純佳	2. あなたのこの授業における週あたりの予習復習時間（レポート課題等含む）はどれくらいでしたか？ の回答にばらつきがあったので、予習復習に意欲的に取り組んでもらうよう工夫したい。
演習ⅣB	時田 朋子	卒論、頑張って取り組みましたね。楽しくも大変だったかと思いますが、大きく成長できました！
演習ⅣB	篠崎 香織	卒業論文の完成、そして4年間の学び、お疲れ様でした。
演習ⅣB	松浦 常夫	卒論にまじめに取り組んでいただき、良かったです。
演習ⅣB	蔣 飛鴻	今後も学生にとってわかりやすい授業を行うよう努めていきたいと思います。
演習ⅣB	神山 静香	すべての項目で肯定的な評価をいただきありがとうございました。自由記述では、「計画を自ら課題に取り組む力が身についた」、「法律についての理解が深まった」との意見をいただきました。自主的に課題に取り組む方が多く、卒論の執筆でさらに自主性や発想力、分析力などが磨かれたと思います。いただいた意見について、次年度に活かしていきたいと思います。



[2022 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅣB	数野 昌三	アンケート回答者2名のみ。皆さんの声が聞きたかったです。 卒論提出を終え、発表会では、限られた7分間という時間の中で人前でわかりやすく説明することの難しさも理解できたと思います。このような訓練は就職後、必ずや役立つと思います。 ところで、わがゼミ全員、就職内定を戴きました！おめでとうございます。社会人の1員として羽ばたいて下さい。期待しています。
演習ⅣB	谷内 篤博	珍しく今回は授業評価の回答者が少なく、授業評価を総括するのは難しい。数少ない回答者の満足度は高いものの、残りの評価が気になるところである。いい演習を心掛けたい。
演習ⅣB	竹内 光悦	4年ゼミもお疲れさまでした。評価もまずまずかと思えます。これからも頑張りましょう。
演習ⅣB	竹内 美香	卒論作成、お疲れさまでした。GFの準備、データの取り込みと加工、解析結果の理解と卒論本文への結果表の掲載のための編集、考察などなど、一緒に頑張れて指導教員としても安堵しています。 書き出してみると、1つの論文を書くまでに随分いろいろな過程があることに気づくと思います。 卒論はなぜ必修なのでしょう。 その答えは、「あなた」ご自身がよく理解していると思います。 自分の卒論(だから必死に頑張れたと思いますが)に取り組む過程で身に着けたのは「作業工程管理」と「見通しをつける力」だと思います。そして、その不安な取り組みの過程の傍らに信頼できる仲間と一緒に居る!ということも重要なことだったのではないのでしょうか。 心理学の分野で卒論を書いた「あなた」は、多分、社会人として何か実務を担当する時にも、卒論の時の経験を活かして工程管理できるでしょう。他の分野の新人さんよりも、巧みに見通しを立てることができるでしょう。 そのように卒業論文執筆の経験を活かしてくださることを、指導教員は期待しています。 どうか健康第一、ご自分を大切に育て続けてください。
演習ⅣB	標葉 靖子	卒論の個別指導含め、普段のゼミのなかで適宜フィードバックしています。
応用心理学	松浦 常夫	manabaの授業でしたが、感想文を書いてもらい、それを毎回フィードバックしたので、学力は身についたと思います。
家族法	数野 昌三	2022年度「家族法」は、対面授業を実施しました。コロナ禍の中、通学には気遣いが多くあったことでしょう。担当者としては、受講生の表情を見ながらの授業であったため、受講生は理解しやすかったと思います。当然のことですが、理解できなかった点があった場合、多くの受講生からあったように積極的に質問するよう心掛けましょう。 ところで、家族法に関し夫婦(婚姻・離婚)、親子(実子・養子)、相続(法定相続・遺言)について、改正法および判例を含め学び、一層身近な法律であり、重要であることを理解できたと思います。まだまだ身近な問題として考えることは難しいと感じる受講生がいらっしゃるかとも思いますが、必ずしや巡って来る問題ですので、各自、理解しやすい書物を手に取り、勉強を継続していきましょう。
会計学総論Ⅱ	蔣 飛鴻	総合評価では全体平均の4.40に対して、この科目は4.25となっております。この点について反省し、今後、授業の進め方を改善していきたいと思えます。ご回答どうもありがとうございました。
会社法	神山 静香	オンデマンド型の授業だったこともあり、資料の探し方や資料の読み方、分析のしかたなどについて、十分な解説ができなかったため、特に初めて会社法を学ぶ方にとって、内容を十分に理解するには大変だったと思います。自由記述では、「内容が難しかったが理解できた」、「難しい内容だったが、締め切りまでに理解して課題に取り組むことができた」等の意見があり、自学習を積極的に進めてくれた方も多かったように思います。授業の理解度の点で課題が残ったと思いますので、いただいた意見を次年度に活かすよう心掛けたいと思います。 自由記述では、「就職したときに力になることや知っておいた方が良いビジネスのルールを知ることができ、講義を受講して良かった」、「会社の経営について様々な方法があることや、株式会社等の会社について理解が深まり、会社法の基本的な知識が身についた」、「ビジネスを行う際のルールや、経営者となった時に負う義務や責任をより理解できるようになった」、「これから社会人になり社会とのかかわりが深まる中で会社について知ることができ非常に興味深かった」等、肯定的な意見をいただきありがとうございました。次年度の授業を活かしたいと思えます。

【2022（後期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
感情・人格心理学	竹内 美香	<p>「感情・人格心理学」は、授業内でもご説明しましたように国家資格・公認心理師の受験資格として必須の学部科目の1つとして指定されている科目です。本来は「感情心理学」「人格心理学」としてそれぞれ独立した科目でもよい内容を100分*14回に凝縮しますので、コンテンツも多くあります。しかも、学部生は心理学の「初学者」でもありますので、用語解説も事例も必須。当然、内容は多くなります。</p> <p>2022年度は、「2つ分の科目を融合して、しかも必須の学習内容があつて14回」というなかなか過酷な条件に挑戦してみました。理解して楽しいと感じて頂くために、できるだけ順序立てて説明するというのも目指しました。また、興味を持つことができた学生さん向けには、自分でも学んでもらえるように原典の論文資料も配信するなどしていました。内容がダブつくことはないようにしましたが、多少、忙しかったかもしれません。</p> <p>毎回、学んだこと、感じたこと、さらに調べたことなど言語化していただくようにワークシート課題を課していました。これも忙しく大変だったと思いますが、自由に詳しく丁寧に書き込んで規定の時間内に提出する方々ばかりで、教員としては心強い限りでした。社会人になると、1日のうちにクリーンにしておきたい to do がますます増えます。毎週のワークシートを規則正しく書いて提出できた方を尊敬しますと同時に「よい習慣ができましたね!!」と称賛したいと思います。</p> <p>「感情・人格心理学」は、皆さんがイメージする「心理学」の核の部分に近い内容ではないでしょうか。とても深く、まだまだ研究テーマにしたい事象が含まれる領域です。生活場面で「おや?」と思ったことは忘れないで、調べ方を考えてみてください。さらに「感情・人格心理学」を勉強したくなることでしよう。</p>
経営学概論	篠崎 香織	<p>履修者のほぼ半数の方からコメントをいただきました。ありがとうございます。一方、もう半分の方からはアンケートへの回答をいただけませんでした。この点が次回への課題につながるだろうと思います。もっと多くの方に、関心を寄せてもらえるようなインパクトのある授業を心がけていきます。</p>
経営管理論	篠崎 香織	<p>経営管理は、人と活動する機会には必ずついてくることですので、ぜひ今回が学習したことのどのようなものでも、実生活なかで生きてくると思います。</p>
経済学概論	角本 伸晃	<p>経済学概論の内容は数式や計算問題が出てくるので、毎年、厳しい評価となりますが、今年はQ15では4.29の評価でした。今年の授業は、企業との産学連携を導入して、その提案内容に講義での知見を取り入れるような工夫をしました。例年、Q15の評価が4を切っていましたが、このような取り組みが評価されたものと思います。</p>
健康・医療心理学	竹内 美香	<p>実は、「健康・医療心理学」の前身は「女性心理学」という科目でした。女性の心身の発達と社会的性別役割(ジェンダー)とキャリア形成、家庭と経済など、扱うべきコンテンツの多い科目です。できるだけ青年期のキャリア形成の「ただ中」にある受講者の悩みや関心に応えるように心がけています。2022年度はさらに、国家資格・公認心理師の受験資格としての学部必修科目の構成を重視しました。「医療制度・施策・対象と現場の状況」も従来の発達心理学的な健康と医学情報に加えたのです。結果として、コンテンツは豊富化されましたが、少し忙しかったかもしれません。しかし実はまだまだお伝えしたい情報で詰めたものがあります。</p> <p>2022年度の講義コンテンツとしては、受講者からの反響が期待以上大きかったのは「老年期の心身と介護と看取り」の節でした。講義担当者にとっては自身の老親と自身に迫る「老い」として切実ですが、受講者にも身近に祖母様とその支援をされている親御さんの姿があるようでした。「なぜ、それまで出来ていたことが出来なくなるのか」「老いて身体機能が低下するという経験はどのようなことなのか」「介護保険と要支援・要介護認定制度の利用では、実際どのようなことが起こるのか」など、講義担当者と学生さんとで(提出されるワークシートを介して)濃密な情報交換ができました。講義を準備する時点では想像しなかったのですが、若い受講者の皆さんの身近にも「家族介護と支援」の課題があり、既にご自身の課題として切実に感じ始めている、と知る機会となりました。</p> <p>「健康・医療心理学」はまだまだ扱うべき知識情報を含んでいます。基礎と時事は「車の両輪」です。今後も臨床的に、講義担当者と受講者として情報交換しながら進めたいと考えています。</p> <p>期間中に、外部講師の産婦人科専門医の先生を招いて特別講義も実施しました。受講者から熱意のこもったフィードバックシートが提出され、女性の心身とキャリア発達に対する関心と問題意識の高さを知る機会となりました。</p> <p>学んだこと、考えたことを、これからの生活場面でも思い出し、活かし、さらに学んでください。</p>
原価計算論	蔭 飛鴻	<p>全体科目平均の4.38に対してこの科目の平均が4.50となっています。今後も学生にとってわかりやすい授業を行うよう努めていきたいと思っております。</p>

[2022 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
現代企業論	吉田 雅彦	<p>多くの学生に満足していただいた一方で、中立、否定的な評価が12%ありました。</p> <p>「文系理系分けて考えるのは就職に違いがあるため当然だと思ったが、理系批判がとても嫌でした。」というコメントをいただきました。批判に聞こえないよう、社会で実際に起きていることを伝えられるよう、今後、工夫します。</p> <p>以下のような肯定的な感想をいただきました。</p> <p>社会人になるにあたって必要な知識や、社会人基礎力を初めの3年ほどで身につけることがどれほど大切なことかよく理解できた。          企業やAIについて知ることができました。          就活に役立つ知識がついた          新しい知識が身についた。          いろんな技術を知ることが出来た。          その企業が、どのようなバリューチェーンと工業技術で利益を得ているのかが分かるようになり、自分が気になる企業の情報についても知ることができた。企業を多方面から見る力がついた。          就職をする上での知識を身につけることができ、さらに企業を調べる際にどこに着目すればよいかのどを知れたため企業に興味があつた。          企業論と言う苦手意識のある分野をあえて学んだことで、企業の仕組みから就活に役立つことまで知らなかったことを吸収できた。          バリューチェーンについての理解が深まった。          企業に対する理解とこれから就職活動をするに当たって自分がどのようなことをすればいいのかがわかった          会社がどのような事業を行い利益を出しているかなど経営に関する知識が身についた。</p> <p>職業や企業がどのように利益を得ているのかを理解することができた。          グループ活動があったため仲間との意見交換をすることで、異なる意見と自分の意見を客観的に比較する力とグループワークする力が身についた。          企業の調べ方やバリューチェーンについての理解が深まった。          企業の見方についての知識が深まった          物事を客観的に見る力、文章要約能力が身に付いた。          現代の就活には何が必要か、人間性も含め学べた。          就職についてどのような企業を選ぶか参考になったし、就職で使える知識を教えてくれた。          現代の企業がどのくらい発展しているのかなどについて知識を深めることができた。          この授業を受けて学んだことは、就活の際に企業選びに役立つと思い、この授業を履修してよかったと感じた。          授業内に自分で調べると言う時間やグループワークがあったため楽しく授業に取り組むことができ良かった。          とても楽しい授業でした。半期ありがとうございました。          グループワークがあるとより考えが深まるため、これからもグループワークをしたほうが良いと感じた。          企業においてバリューチェーンと工業技術がいかに大切かということがこの授業を通して知ることができました。また、自分の将来には関係のない分野だと思っていた仕事について知ることができて、視野が広がりました。          以前は全く知らなかった理系の分野について知ることができてよかったです。また、就活に役立つような知識も教えてくださりとてもためになりました。          対面授業で企業の求める人材像や、これから私たちが学んでおくべきことがわかりとても楽しかった。          授業中に気になったことを質問しやすい環境にしてくれ、早く答えてくださったのでありがたかった。          レスポンを多く使った授業の方法はやりやすかったです。</p>
現代日本経済論	角本 伸晃	<p>「Q15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか?」において、昨年は3.89と経済学概論よりも低い評価でした。一昨年は4.47だったので、かなりの低下でしたが、今年は努力の甲斐があって4.56と高い評価をいただきました。          次年度も、わかりやすくなる講義を心がけたいと思います。</p>
言語コミュニケーション開発支援論	高木 裕子 古内 綾子	<p>途中、担当教員が交代するということがありましたが、それでもしっかり学習されたことがわかりました。次回は、今回のようなことがないようにしたいと思います。</p>
広告・PR論	井上 綾野	<p>企業連携等が多く、大変な授業だったかもしれませんが、みなさんの取り組みが外部にも評価されてよかったと思います。課題で提案したことが実現したことが素晴らしいかったですね。</p>
行政法	金津 謙	<p>貴重なご意見ありがとうございました。          参考させていただきます。</p>

【2022（後期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
国際ビジネスと法	神山 静香	<p>説明や資料のわかりやすさ、理解度、満足度等、すべての項目で肯定的な評価をいただきありがとうございます。予習復習時間が1時間未満との回答があったため、次年度は、予習復習のための資料や教材等について工夫を行いたいと思います。</p> <p>自由記述では、「国と国の法律の違いから生まれる問題について理解することができた」、「国際ビジネスやビジネス法についての理解が深まった」、「国際ビジネスの動向に関心を持てたことに加え、積極的に新聞やニュースでビジネスに関する記事を読めるようになった」、「様々なことを初めて知ったが、中でもコーポレートガバナンスの内容について興味がわき、自分で調べるなどした」、「授業に近い日付やその週に世界で起きているビジネスの話も聞くことができ、とても学びが多い授業だった。世界で起きていることにアンテナをはれるようになり、社会で起きていることに積極的に関心をもつことは大事だと考えさせられた授業だった」、「説明や資料がとてもわかりやすく、受けて良かったと思った」、「日本以外の国のことも知ることができ良かった」等、肯定的な意見をいただきました。いただいた意見を次年度に活かすよう心掛けたいと思います。</p>
国際企業論	吉田 雅彦	<p>とても満足した学生は6割弱でしたが、ほとんどの学生に満足いただけました。</p> <p>内容は難しかったと思うのですが、以下の肯定的なコメントをいただきました。</p> <p>企業のしくみや事例についてよく知れた。 主に日本の企業で海外で発展している企業について、どのように段階を踏んで発展していったかについての理解が深まった。 企業について調べる機会がなかなかなかったので、その面で知識をつけられて良かった。 企業というものがどのような仕組みなのかということがよく分かった。 国際企業の海外進出方法や経営に関する理論等への理解が深まった。 非常にわかりやすく、興味深い内容でした。ありがとうございました。</p>
国際経済論	吉田 雅彦	<p>多くの学生に満足いただきました。 難しい内容ですが、良く学んでいただけたと思います。以下の感想をいただきました。</p> <p>授業資料だけでなく、自ら検索して学びを深める力がついた。 国際的な視点が持てた。国際的な経済について理解が深まった。 経済への理解が深まった。 経済について、国際的な出来事などと関連づけて学ぶことができた 日本のみならず海外の経済について理解が深まった 日本国内のみならず、国際的な経済問題などについて深く理解することが出来た。 すぐに質問に答えてくださり、助かりました。分かりやすい授業資料をありがとうございました。 ありがとうございました。 半年間ありがとうございました</p>
社会システム論	篠崎 香織	<p>社会システム論を履修する大きな意味は、社会システムという、おそらくこれまで持ってこなかった視点でものごとを見ることです。「意味の連関」、これを忘れずにいてください。</p>
社会と統計	竹内 光悦	<p>おおむね好意的なコメントでホッとしています。統計・データサイエンスに関する知識・技能は今後ますます社会的にも期待されます。ぜひ学年が上がってもいろいろと学びを続けていきましょう。</p>
社会と統計	竹内 光悦	<p>おおむね好意的なコメントで良かったです。Excel 等でのデータ処理は2年次の科目「調査・実験データ処理法」で紹介します。今後、統計・データサイエンスに関する知識・技能は社会的にも期待されますので、さらに学びを深めていきましょう。</p>
社会学概論	原田 謙	<p>皆さんの成績評価は、Bが最も多く、以降A、C、+Aの順になりました。 授業のスピードや話の分かりやすさなど、授業の内容と方法に関する項目は4.5点を超えており、比較的高評価だったようです。1年生の皆さんは、来年度以降、詳しく学びたいと思った社会学の選択科目をぜひ履修してください。</p>
社会調査実習Ⅱ	竹内 光悦	<p>いろいろとグループワークでの課題も出てきますが、それも含めて、社会での学びにつながると思います。次年度は卒業研究ですが、今回の経験を振り返り、よりよい研究に努めましょう。</p>
社会調査方法論	原田 謙	<p>成績評価は、Aがもっとも多く、続いてB、C、+Aの順になりました。 授業のスピードや分かりやすさの評価は4.6点を超えており、比較的高評価でした。授業で習った調査方法を、ゼミ論文や卒業論文で活用してください。</p>
社会文化事業論	高木 裕子	<p>今回はゲストスピーカーの講義やお話内容からシラバス内容が理解できるように工夫しましたが、その点に関する評価はなかったように思います。授業ではインターラクティブに積極的にご参加くださったと思っています。講義内容他についての分析や今後に向けてのお考えは参考になりました。</p>

【2022（後期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
消費者心理学	井上 綾野	様々なモデルを用いて、消費者に対する理解が深まったこと、とてもよい学びになりましたね。ここで使用したモデルを、卒業論文等に活かしてください。
心理学概論	松浦 常夫	大人数でしたが対面で授業ができて良かったです。
心理学統計法	粟津 俊二	なかなかヘビーな課題をしてもらいましたので、平均学習時間もそれなりに長くなっています。皆さん、なかなか頑張ったと思います。セクションⅡの評定値は全て4.5以上ですので、基本的には授業方法に問題は無いと考えます。
心理実習	松浦 常夫 粟津 俊二 竹内 美香	<p>国家資格「公認心理師」の国試受験資格として学部で必須要件の「心理実習」です。履修者の熱意に支えられ、教員もこの難しい科目の実施に挑戦することが出来ました。予定していた課程を完遂して安堵しています。</p> <p>実習は、座学だけでは得られない経験となったことでしょうか。現場の人に出会い、現場の空気を呼吸し、自分の立ち位置を問われ、戸惑ったり、考えたりする、学生としては稀有な機会です。その分、「絵空事ではない」自分とも出会ったのではないのでしょうか。</p> <p>心理学は、目立たないけれど、やはり社会的課題の解決に取り組む場面では有用性の高い学問領域です。その専門職を志す「心理実習」生の「あなた」には、ぜひこの取り組みを続けて頂きたいと思っています。</p> <p>「心理実習」という難関通過、賞賛します。さらに頑張りましょう。</p>
心理的アセスメント	佐藤 恵美	アセスメント方法は難しく、実践をしないとイメージできないので難しかったかもしれませんが。しかし、授業も静かで本当に真面目に受講してくださったように思います。本当にありがとうございました。
神経・生理心理学	間野 陽子	神経・生理心理学では、脳の機能と構造、人の視覚・注意・運動・記憶・言語・感情・社会性・加齢等の仕組みと障害について学びました。これらの認知機能は、日常生活において、必要不可欠なものばかりです。授業で学んだ内容は、みなさん身近な事柄として捉えることができましたようです。神経・生理心理学での学びは、日常生活において、自分自身の思考や行動が、脳内でどのように処理されているのかについての理解を深め、さらに認知症、発達障害、精神疾患等の脳活動を理解することで、自己と他者との違いを通して多様性を理解することにも役立ちます。みなさんが学んだ知識を、自分自身について見つめなおしたり、他者について理解したり、社会の中での多様性を理解することに役立てていただければ幸いです。
人間教育学概論	広井 多鶴子	<p>資料を使ったオンデマンド授業なので、理解しやすかったかどうか、気になっていたのですが、82%が理解できたと答えており、他の講義全体の平均より少し高かったので、ほっとしました。予習復習の時間も1.4時間と多く、みなさんよく取り組んでくれたのだと思います。</p> <p>そのためでしょう。「データを読む力が付いた」「子どもに関する社会問題が理解できた」「マスコミ報道とは違う見方ができた」といった感想が多く寄せられました。</p> <p>NHKの動画や私の方でポイントをまとめたことが理解につながったという意見もありました。より分かりやすい授業になるよう、資料や説明を工夫していきたいと思っています。</p>
人体の構造と機能及び疾病	塩川 宏郷	臓器別に解剖学的な構造と生理機能について概説し、代表的な疾患と心理社会的な要因との関連について講義しました。学生は熱心に聴講されていましたが、質問がなかったのが残念でした。
精神疾患とその治療	塩川 宏郷	受講生が少ないのが残念でしたが、精神医療の概要と特殊性、代表的な精神疾患について講義しました。精神医学にかかわる現代の問題や課題についても今後加えていきたいと思っています。
福祉社会学	山根 純佳	6. 各回の授業の進むスピードは適切でしたか? の設問で、適切ではなかったとの回答もあったので、時間配分等慎重に授業計画を練っていきたい
簿記論Ⅱ	蔣 飛鴻	全体科目平均の4.40に対してこの科目の平均が4.72と高くなっています。今後も学生にとってわかりやすい授業を行うよう努めていきたいと思っています。
法律学	数野 昌三	2022年度後期「法律学」は、Zoom授業を実施しました。パソコンを見ながら一方的に進行していくため、理解しにくかった点もあったかと思っています。しかし、授業アンケートを見ると、何回も自分のペースで学習することができ良かったという意見が多く見受けられました。また、担当者としても受講生から質問があった場合、直ぐに回答するように心掛けました。法律は難しいというイメージが付きまといますが、日常生活上必須の存在として今後も法律科目を受講していくことが大切だと思います。